

# 日光医療センター通信



獨協医科大学日光医療センター

Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

2012.10 第19号

秋号



2階へ移動し、広くなった採血室



## 主な内容

- 診療紹介（循環器内科（心臓・血管内科）） ……2
- 部門紹介（内視鏡部） ……3
- 病棟紹介（4階西病棟） ……4
- 旬を食べよう/インフルエンザの予防について …6
- 自動再診受付機と採血採尿受付機の受付開始時間変更について …7
- 採血室と外来診察室の場所変更について ……7
- 病院への手紙回答/求人情報 ……8



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

## ▶ 循環器内科（心臓・血管内科）

心臓・血管内科 診療科長 安 隆則

「循環器診療・教育を通して地域社会に貢献する」という私たちのビジョンを目指して当センター6名の循環器内科専門医は、日光地区をはじめ近隣の地区の地域医療機関の先生方と密接な連携を取りながら適切な循環器診療を行います。

担当する病気の種類は、狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患（冠動脈が詰まり胸の圧迫感が出る）、心不全（心臓ポンプ機能が落ちて呼吸困難が出る）、不整脈（ドキドキしたり気を失う）、末梢動脈疾患（歩くとふくらはぎが一時的に痛む）、大動脈解離（大動脈の壁が裂ける）、肺血栓塞栓症などです。急な心臓や血管疾患の悪化に迅速に、かつ適切に対応すべく救急体制を充実させております。同時に包括的心血管リハビリテーションを介して2次予防に力を注ぎます。



### <特徴・特色>

- カテーテル治療（バルーン、ステント）、ペースメーカー、アブレーション、薬物療法を含めた県内トップレベルの総合的治療を提供します。慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する肺動脈拡張術も安全に施行いたします。
- 治療選択枝に関して患者様に十分説明し患者様の希望をよく聞き、インフォームドコンセントを大切にします。
  - 虚血性心疾患なら木曜日の杉村外来、金曜日の星外来
  - 不整脈なら月曜日の堀江外来、火曜日の轟外来
  - 末梢動脈疾患なら水曜日の安外来、木曜日の杉村外来
  - 弁膜症や先天性心疾患や慢性血栓塞栓性肺高血圧症なら水曜日の安外来
  - 睡眠時無呼吸や肺高血圧症なら火と水曜日の中元外来
- 心臓・血管外科チームとの綿密な連携で緊急血管外科手術が可能です。
- 退院後は、かかりつけ医と連携協力しフォローします。

### <外来担当医一覧表>

|       | 月     | 火             | 水              | 木     | 金     | 土                                    |
|-------|-------|---------------|----------------|-------|-------|--------------------------------------|
| 予約外来  | 安 隆則  | 中元 隆明<br>星 俊安 | 中元 隆明<br>杉村 浩之 | 轟 正勝  | 堀江 康人 | 中元 隆明(第2,4)<br>安 隆則(第4)<br>杉村 浩之(第1) |
| 予約外外来 | 堀江 康人 | 轟 正勝          | 安 隆則           | 杉村 浩之 | 星 俊安  | 堀江 康人(第5)<br>轟 正勝(第2)                |

部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

## ▶ 内視鏡部

### <主な業務>

内視鏡部では現在、消化管、呼吸器、泌尿器の3領域の内視鏡検査及び内視鏡下治療を行っています。さらに内視鏡検査機器の管理や使用後の洗浄及び保守も内視鏡部で行っています。内視鏡部を構成する診療科は消化器内科、呼吸器内科、外科そして泌尿器科の4科であるため、各科での検査担当日を決めて効率的に内視鏡機器を使用できるように内視鏡検査を行っています。また、人間ドックでの上部消化管検査も内視鏡部で消化器内科が行っています。

### <主な検査実績>

昨年度の検査実績は、月ごとの平均検査件数は226例であり、検査部位別では上部消化管130例、下部消化管70例、十二指腸7例、気管支8例、泌尿器11例でした。内視鏡検査では診断だけでなく、内視鏡下治療も積極的に行っていてポリープなどの切除を月平均9例、胆道ドレナージも4例行っています。また、吐血や下血などの出血などに対応する緊急内視鏡検査も月平均で15例に対して行ってきました。さらに、健診部からの依頼による内視鏡検査は月平均ではまだ11例と少ない件数ですが、次第に検査件数の依頼は増加傾向にあります。

当センターの内視鏡部は大学病院に付属する内視鏡検査室であるため、内視鏡の検査を行うだけでなく検査内容も充実させていく必要があります。このため、検査の質を高めるものの一つとして、昨年度に泌尿器系の内視鏡検査機器であるNBI（狭帯域光観察）を消化器内視鏡検査でも行えるように新規機種を導入しました。このNBIによる光学処理で粘膜面の血管などがより明確に観察できるようになり、病変の発見が容易になります。さらに、消化管疾患では拡大観察を併用することにより、質的診断をより高精度に行うことが可能となってきています。一方、内視鏡検査時の苦痛を減じるために、経鼻内視鏡検査も導入しています。当院の人間ドックでは経鼻内視鏡検査を行っていて、検査希望者数も増加傾向にあります。

内視鏡部では、より安全で、より高い精度の内視鏡検査が行えるように努めていきます。



病棟紹介 シリーズで当センターの各病棟をご紹介します。

## ▶ 4階西病棟

師 長：「は～い、今日はだ～れ？」

スタッフ：「目標！指差し呼称を徹底しよう！」「ヨシ！！！」

朝、師長の掛け声で、スタッフが今週の目標を大きな声で読み上げる4階西病棟を紹介します。

当センター4階西病棟は、整形外科、泌尿器科、麻酔科の患者様が手術や検査などの治療を目的で入院してきます。そのため、急性期看護が必要とされ、スタッフ一同患者様が安全に安心して治療が受けられるように援助しています。

スタッフは、吉田師長をはじめ、看護師30名、看護補助2名の計32名がおります。



朝の目標を読み上げて団結しているスタッフ

今年度から整形外科の先生が全員交代となり、上肢を専門とする長田教授、脊椎を専門とする加藤講師、膝関節を専門とする矢野先生、女医の都丸先生の4名がおります。4月から手術件数も増加し、病棟スタッフは緊張の中業務をこなしていますが、常に“安全を第一に！”をモットーにしています。

泌尿器科は、副院長の本田教授と今年准教授になられた中西先生のお二人で力を合わせています。



整形外科医師  
(左から加藤講師、都丸先生、矢野先生、長田教授)



泌尿器科医師  
(本田教授・中西准教授)

今年は新人看護師が3名配属され、毎日緊張しながら仕事を覚えています。

新人看護師です



そんな新人看護師のために先輩看護師達は、時には優しく、時には厳しく一生懸命指導しています。

先日も中西准教授の指導のもと勉強会を行い、患者様に質の高い看護を提供できるように努めています。



先輩看護師が指導しています



真剣に学んでいます



勉強会後のひとときです

4階西病棟に入院する患者様は、手術や検査のため不安や緊張を抱えて入院してくることが多いため、常に安全・安楽に看護が提供できるように努めています。整形外科では手術後にリハビリテーションで必要となる靴の選び方と、泌尿器科では前立腺がんの早期発見のためのPSA検査について、分かりやすいように廊下に壁新聞を掲示しています。



掲示している壁新聞（整形外科）



掲示している壁新聞（泌尿器科）

4階西病棟は、患者様が安心して入院し、笑顔で退院できるように心掛けています。  
4階西病棟に入院する事がありましたら、気軽に声をかけてください。

## 旬を食べよう

### さんま

さんまは秋を代表する魚で、刀のように細長い体形から、漢字で“秋刀魚”と書きます。

旬は秋から冬ですが、夏の終わりから晩秋にかけてもっともおいしくなります。この時期、日本各地では好んで食べられています。



#### 《栄養》

さんまは、良質なたんぱく質と脂質が豊富です。さんまに多く含まれるEPA・DHAなどの不飽和脂肪酸には、悪玉コレステロールや中性脂肪を減少させる作用があります。また、他の魚に比べて、鉄が多く、赤血球の生成に欠かせないビタミンB12も豊富に含まれているため、貧血の予防にも役立ちます。

#### 《おいしいさんまの見分け方》

- 腹が太っていて、ピンと反り返っているもの
- うろこがたくさんついており、表面に光沢のあるもの
- 目が澄んでいるもの
- 口先や尾の付け根が黄色いもの

#### 《保存方法》

- 脂が多いものほど酸化しやすいため、とくに旬のさんまは、その日のうちに調理して食べるようにしましょう。すぐに食べないときは、頭と内臓を取って塩をふり、ラップで包んで冷凍しておくのが安心です。干ものも、冷凍保存しましょう。

#### 《美味しい食べ方》

- さんまの代表的な食べ方といえば、塩焼きです。たっぷりの大根おろしとレモン汁と一緒にいただきます。そのほか、かば焼き、煮付け、しょうが煮、竜田揚げ、フライにしてもおいしく食べられます。



(管理栄養士)

## インフルエンザの予防について

もうまもなく冬、流行が予想されるインフルエンザの予防の話をしましょう。

すでに耳にたことはと思いますが、改めて風邪（感冒）とインフルエンザとは違うのです。大きな違いは、インフルエンザは重症化して、時にヒトの生命を奪うことがあるということです。現に毎年インフルエンザが原因で死者が出ています。もうひとつの特徴は、私たちは、ワクチンという確実な予防の道具を持っていて、利用できるということです。

3年前、警戒していた「新型」インフルエンザは、脅威であったトリからのAH5型ではなく、ブタからの変異株、AH1型であったこともあり、日本では、比較的死亡率も低く済み、今では従来のソ連型に置き替わって、元々の季節型インフルエンザのように振舞っていることはご存じの通りです。

しかし、今は差し迫った兆しが無いだけで、もうトリ型インフルエンザ流行の可能性が消えてなくなった訳ではありません。なぜこのAH5型のインフルエンザが脅威なのでしょう？ 我々の体が持っている免疫という（防御）機構ははじめて出会った（細菌やウイルスなどの）敵に対しては、残念ながら十分な抵抗力を発揮できないのです。これまでの人類史上AH5型の流行はなく、ヒトの免疫機構においてこの株は未知のもの、という訳で、つまり免疫が皆無のため、流行れば多くの死者が出ると予測されているのです。



翻って、（今の流行株、AH1、AH3、およびBによる）季節型インフルエンザは、すでに十分我々なじみ（つまり免疫）がある上に、（上記の）3種による混合**ワクチン**（通常のワクチンがこれです）の備えもあって、確実に予防ができるのです。流行前には是非接種を受けておきましょう。加えて、流行る時期には**うがいと手洗い**もしっかり行ってうつされないように。そしてもしも罹ってしまったら、「**咳（せき）エチケット**」\*を心掛けましょう。ひとりひとりの一寸の気遣いと努力で、インフルエンザの流行は小さくできるのです。予防のための以上**『3種の神器』**をどうかお忘れなきように。

\*「咳（せき）エチケット」：ヒトが居るところでは、せきやくしゃみの時は、ティッシュやハンカチで口や鼻を覆う、というマナーのことを云う。その普及のためのキャンペーンで作られた言葉。

## 自動再診受付機と採血採尿受付機の受付開始時間変更について

患者様の利便性向上のため、下記のとおり受付開始時間が変更となりましたのでお知らせいたします。

自動再診受付機  
採血採尿受付機 → 午前8時30分から受付開始

## 採血室と外来診察室の場所変更について

外来化学療法室設置に伴い、下記のとおり採血室と外来診察室の場所が変更となりました。

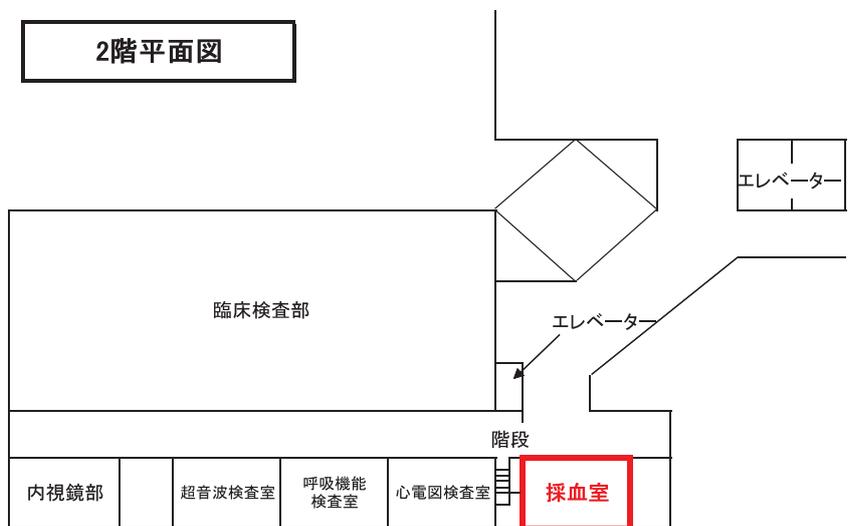
### 【採血室】

平成24年9月10日から1階から2階へ変更となりました。

自動再診受付機で受付後、採血・採尿受付機（自動精算機横）で受付をしてから、採血室へお越しください。

なお、採尿は、1階内科外来待付近のトイレをご利用ください。

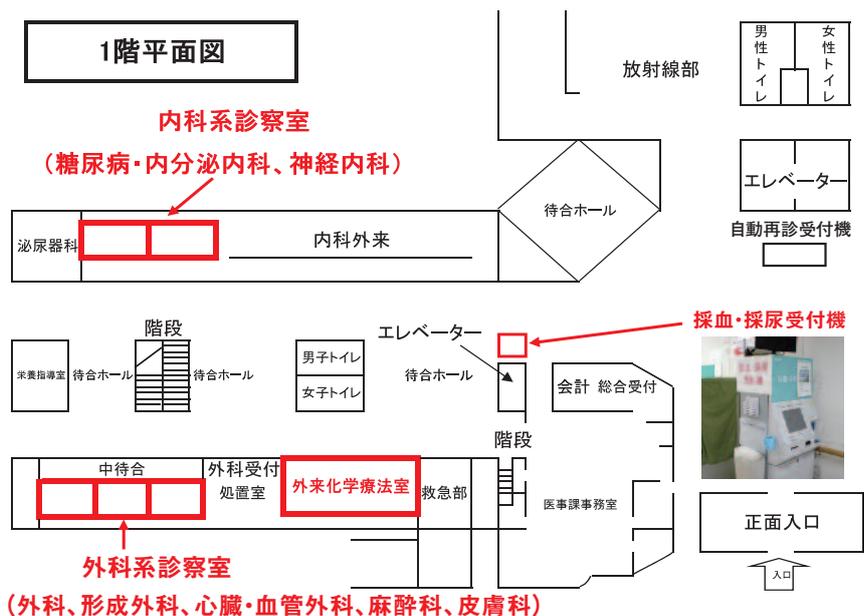
採血室へは、正面エレベーターで2階まで上がり右手奥へ、または、採血・採尿受付機裏側のエレベーターで2階まで上がりすぐです。



### 【外来診察室】

平成24年9月18日から下記の診察科は診療室が変更となりました。

糖尿病・内分泌内科、神経内科、皮膚科、外科



※センター内に各所の案内図、誘導表示を掲示しておりますのでご覧ください。

## 病院への手紙にお答えいたします

～当センターの各所に設置してあります、ご意見箱に寄せられた  
患者様からのご意見・ご要望等「病院への手紙」に対する回答～

### ご意見・ご要望

#### ●各出入口の施錠時間について

<60歳 男性>

入院していて早朝、正面玄関から外に出るところ中に入れなくなってしまった。

### A)お答えいたします

当センターでは、防犯上の目的で下記のとおり出入口の施錠を行っております。皆様にはご不便をお掛けいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、守衛室横の夜間出入口につきましては、施錠中であっても、院外へは自由に通行できますが、院外からは自由に通行できませんのでご了承ください。

各出入口の施錠時間 正面玄関：21:30～翌6:00

その他の出入口：21:30～翌6:30

夜間出入口：0:00～翌6:00

### ご意見・ご要望

#### ●予約時間について

<年齢不詳 男性>

予約をしているのに、待ち時間が長すぎる。

### A)お答えいたします

担当医ごとに患者さまの診療にかかる時間を考慮し、時間枠を設けて予約数を決めておりますが、当日の患者さまの診療内容、緊急な診療を要する患者さまへの対応が必要となった場合、予約されていた時間から大幅に遅れてしまう場合がございます。

なお、引き続き予約枠数の見直しを行い、患者様の待ち時間が少しでも短縮できるよう、患者さまへのサービス向上に努力してまいります。

### 当センターで一緒に働いてみませんか？

## 看護職員募集中

#### <平成25年度採用看護職員採用試験>

・10月27日(土)〔応募締め切り10月19日(金)〕

平成24年度採用については、随時対応いたします。

#### <平成25年度採用看護師就職説明会>

随時対応いたします。

▼詳細なお問い合わせは

TEL 0288-76-1515

(内線270) 看護部

### 編集後記

「医学は進歩、広報誌も・・・」

今回も新たに専門医を迎え、新たな診療を紹介することができ、進化している獨協医科大学日光医療センターを紹介できました。でも、これで満足をしていません。この日光地域でも地域医療に従事する若い人たちを教育し最新の医療を提供する使命もあります。地域の皆さんにもご協力を頂き、我々も医療を通じて地域で安心して生活できる街づくりに協力を致します。そのための情報源としてこの広報誌も次号から生まれ変わります。地域のために、地域とともに歩む広報誌にしたいと思っております。読者となる地域の皆さんにもご参加を頂き、こんな企画・連載があったら良いと思うものがあればご意見だけでなくご投稿も頂き、発行が待たれ愛読される広報誌にしたいと思っております。ご協力、ご期待下さい

(新広報委員長MH)

## 日光医療センター通信 第19号

〒321-2593 栃木県日光市高德632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日/平成24年10月1日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷/株式会社松井ピ・テ・オ・印刷

携帯サイトはこちら

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/i/>

または、右記のQRコードを読み取りアクセスして下さい。

